

- 5 仙台北部地域急行バス運行事業

事業目的

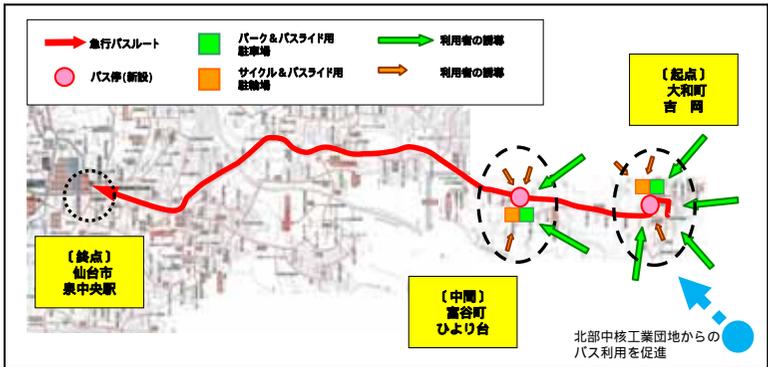
- ・新交通ターミナル(大和町)等の交通結節点を活用して、新たな公共交通軸を形成する。
- ・自家用車利用からバスへの利用転換を図るために、パーク&バスライド等を推進し、仙台市泉中央付近の交通混雑の緩和と環境負荷の低減(CO2削減)を図る。

事業効果	
CO2削減効果	7.6 t-CO2/年

事業内容

平成25年度の事業費 8,333千円 (うち税充当3,750千円)
 平成25年度の事業量 急行バス試験運行 3便程度(大和町吉岡 泉中央駅
 大和町吉岡地区(起点)～富谷町ひより台地区(中間)
 ～仙台市泉中央駅(終点)

実施主体 宮城県
 社会資本整備総合交付金による効果促進事業として、基幹事業(大和町の新交通ターミナル整備)と一体的に取り組むことによりその効果をより高める。



現 状

- ・泉中央以北の公共交通機関はバスに限られ、移動手段は自動車に大きく依存している。
- ・このため、自家用車通勤などにより仙台都心部に向かう国道4号等の朝のラッシュ時の渋滞が著しい。

税導入後のイメージ

- ・公共交通(バス)の利活用の推進
- ・エコ通勤などの意識の醸成
- ・環境への負荷の低減(CO2削減)

新交通ターミナルの活用

渋滞の解消